

令和6年能登半島地震に関する意見交換会 次第

日時：令和6年1月9日（火）

午後2時45分から

場所：特別会議室（WEB会議併用）

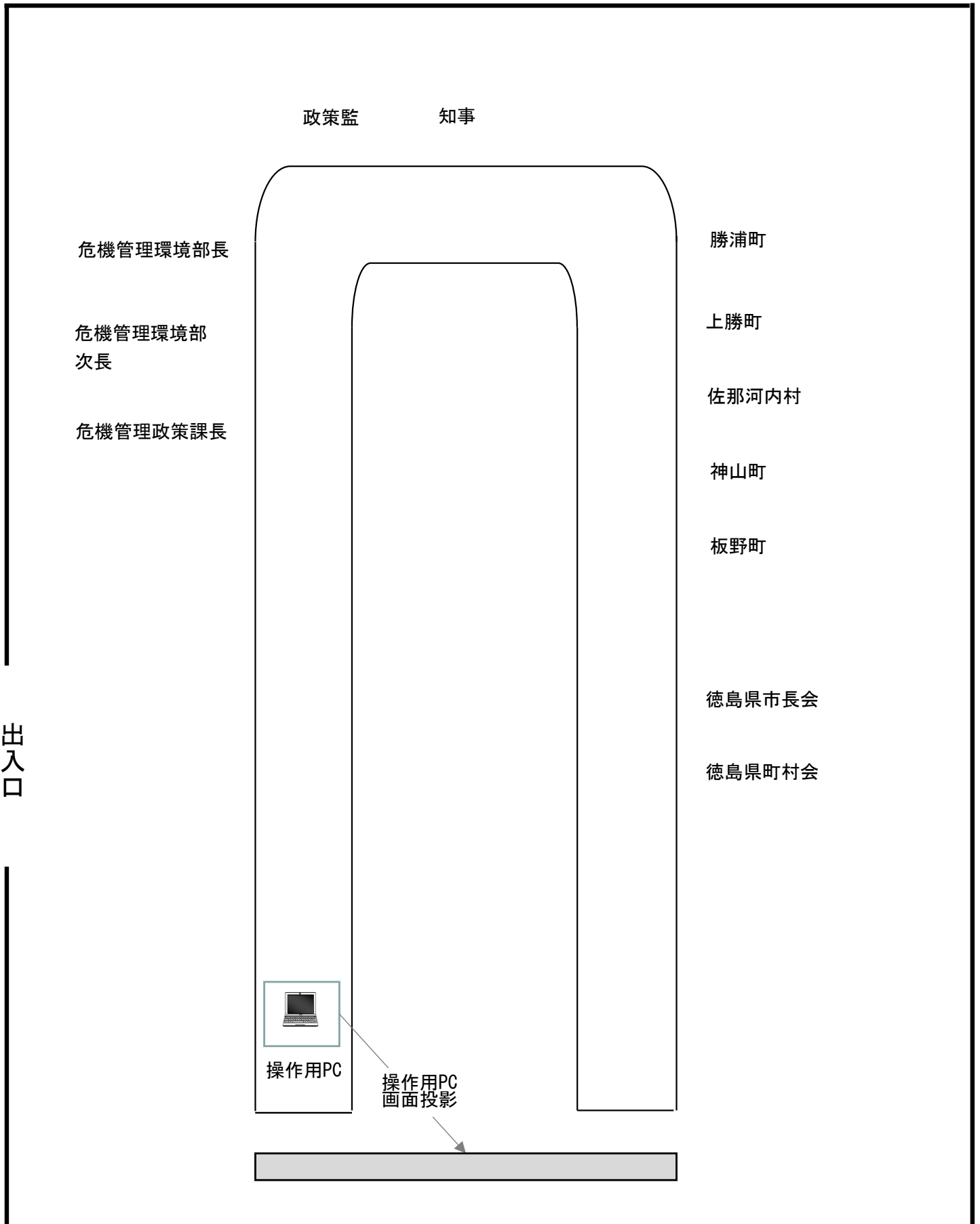
- 1 開 会
- 2 知事挨拶
- 3 令和6年能登半島地震に係る被災地支援の状況について
- 4 意見交換
- 5 閉 会

（配布資料）

- | | |
|-----|---------------------|
| 資料1 | 本県の支援状況 |
| 資料2 | 市町村に人的派遣を要請する業務内容の例 |

令和6年能登半島地震に関する意見交換会 配席図

日時：令和6年1月9日 14:45～
場所：万代庁舎 3階 特別会議室



令和6年能登半島地震に関する意見交換会 出席者一覧表

市町村名	参加者		参加場所	
	役職	氏名	万代庁舎	役場
徳島市	(代理) 危機管理局次長	吉田 浩章		○
鳴門市	市長	泉 理彦		○
小松島市	(代理) 危機管理部副部長	尾山 正		○
阿南市	市長	岩佐 義弘		○
吉野川市	市長	原井 敬		○
阿波市	(代理) 企画総務部長	坂東 孝一		○
美馬市	市長	加美 一成		○
三好市	(代理) 副市長	北川 政宏		○
勝浦町	町長	野上 武典	○	
上勝町	町長	花本 靖	○	
佐那河内村	村長	岩城 福治	○	
石井町	町長	小林 智仁		○
神山町	町長	河野 雅俊	○	
那賀町	(代理) 防災課長	根木屋 彰文		○
牟岐町	町長	柘富 治		○
美波町	町長	影治 信良		○
海陽町	町長	三浦 茂貴		○
松茂町	町長	吉田 直人		○
北島町	町長	古川 保博		○
藍住町	町長	高橋 英夫		○
板野町	町長	玉井 孝治	○	
上板町	町長	松田 卓男		○
つるぎ町	(代理) 副町長	古城 忠美		○
東みよし町	町長	松浦 敬治		○
徳島県市長会	事務局長	児島 正実	○	
徳島県町村会	常務理事	木下 慎次	○	

令和6年能登半島地震

(1) 発生時刻	1月1日16時10分頃発生
(2) 震源地	石川県能登地方（震源の深さ ごく浅い）
(3) 地震の規模	マグニチュード7.6 最大震度7
(4) 被害の状況（石川県）	死者 180人 行方不明者・安否不明者 121人
(5) 避難所の開設状況（石川県）	開設数391箇所（28,160人）

※死者等：被害報 第25報 1月9日9時現在

避難所数：第15回災害対策本部会議資料 1月8日16時現在

徳島県の体制

1月1日16時30分	情報収集体制設置
1月4日	「令和6年能登半島地震担当者連絡会議」設置 ※徳島県市長会、徳島県町村会も参画
1月9日	「令和6年能登半島地震支援本部」設置

国・全国知事会・関西広域連合の被災地支援について

被災自治体への広域応援体制（人的支援）

○総務省「応急対策職員派遣制度」による「総括支援」

- ・石川県輪島市への支援は三重県が総合調整

○総務省・全国知事会・関西広域連合による石川県輪島市への「対口支援」

三重県、東京都、川崎市、大阪府、大阪市、堺市、
徳島県、北海道、長野県、静岡市

○原則、被災市町村のニーズは石川県を通じ、国が調整

- 全国知事会を通じ、各ブロック幹事県に要請
- ブロック内の各県が対応

※徳島県は四国ブロック幹事県

【義援物資の取り扱い】

- 企業・団体からのまとまった規模について、県が現地と調整し支援。
- 仕分け等の手間から、個人からの提供は受け付けていない（石川県の要請）。

総括支援団体、対口支援団体一覧

【令和5年1月9日現在】

関西広域連合の枠組みによる輪島市へのカウンターパート支援が決定（1月4日）

受援団体	総括支援団体	対口支援団体	
			関西広域連合
志賀町	愛知県	愛知県、神奈川県、横浜市、岡山市	鳥取県
七尾市	名古屋市	名古屋市、さいたま市、埼玉県	京都府・京都市
輪島市	三重県	三重県、東京都、川崎市、北海道、長野県、静岡市	徳島県 ・大阪府・大阪市・堺市
穴水町	静岡県	静岡県、栃木県	奈良県
珠洲市	浜松市	浜松市、千葉県、千葉市、山梨県、熊本市	福井県・兵庫県・神戸市
能登町	滋賀県	茨城県、宮城県	滋賀県・和歌山県
加賀市	—	静岡市	
羽咋市	—	長野県	
中能登町	—	岐阜県	
津幡町	—	相模原市	
かほく市	—	群馬県	
宝達志水町	—	札幌市	
内灘町	—	仙台市	
金沢市	—	仙台市	
氷見市	—	福島県	
高岡市	—	広島市	

人的支援

徳島県関係

● 石川県庁支援チーム（リエゾン）

1月2日 県職員2名派遣

3日～5日 石川県庁他で情報収集、支援物資受入調整業務に従事

● 輪島市支援チーム（リエゾン）

1月5日 県職員2名派遣（第1陣）

6日 輪島市に到着 → 情報収集業務に従事

・総括支援（三重県）の調整により、避難所（輪島市ふれあい健康センター）の運営を担当することが決定

7日 県職員2名派遣（第2陣）

8日 輪島市に到着 → 情報収集、支援物資受入調整業務に従事

9日 県職員2名派遣（第3陣）

● 避難所支援チーム

1月7日 県職員3名派遣（第1陣）

8日 輪島市に到着 → 輪島市ふれあい健康センターにて避難所支援業務に従事

人的支援

徳島県関係

● 保健師チーム

1月8日 県職員3名（保健師2名、事務1名）派遣（第1陣）
・輪島市にて避難住民の健康支援等に従事

● 入浴支援チーム

1月8日 県職員1名、美馬市職員1名派遣
・避難所（輪島市ふれあい健康センター）にて、
「WOTA BOX」による入浴支援に従事（予定）

● DPAT（災害派遣精神医療チーム）

1月10日 6名（医師1名、看護師3名、精神保健福祉士1名、事務1名）派遣（予定）
・公立能登総合病院（七尾市）に参集、精神科医療活動等に従事

人的支援

徳島県警

- 1月4日 広域緊急援助隊等26名派遣
- 5日 珠洲市に到着 → 珠洲市野々江町にて捜索救助活動に従事
- 6日 珠洲市野々江町、同飯田町にて捜索救助活動に従事
- 7日 珠洲市飯田町にて捜索救助活動に従事
- 8日 県警へリ「しらさぎ」派遣

自衛隊（第14旅団）関係

- 1月3日 第14旅団後方支援隊54名派遣
- 4日 輪島市に到着 → 活動に向けた調整・準備
- 5日 第14旅団後方支援隊31名追加派遣
- 6日 輪島市にて給水活動に従事

日本赤十字社関係

- 1月10日 日赤災害医療コーディネーターチーム3名（医師1名、事務2名）派遣（予定）

物的支援

徳島県関係

● 支援物資

- 1月2日 石川県庁リエゾンがマスク、弾性ストッキングを帯同
→ 3日、石川県産業展示館（物資集積拠点）に搬入
- 3日 支援物資輸送車（第1陣）により飲料水、食糧、ブルーシートを搬出
→ 4日、石川県産業展示館に搬入
- 4日 支援物資輸送車（第2陣）により毛布、携帯トイレ、オムツを搬出
→ 5日、中能登町役場、宝達志水町役場等に搬入
- 7日 高橋ふとん店から提供を受けた毛布を搬出
→ 同日、輪島市東陽中学校に搬入
- 8日 入浴支援チームが簡易トイレ、アルファ化米等を帯同
→ 9日、輪島市ふれあい健康センターに搬入（予定）
- 9日 「WOTA BOX 2 式」等、入浴支援資機材を搬出
・下着、生理用品等を帯同
支援物資輸送車により簡易トイレ、給水袋等を搬出（予定）
・支援物資は、阿波市、海陽町及び板野町からも提供（予定）

物的支援

県内市町村関係

● 支援物資

- 1月3日 徳島市が富山県氷見市役所に飲料水を搬出・搬入
- 5日 小松島市が石川県産業展示館に飲料水、携帯トイレ、ミルク等を搬出・搬入

● 給水支援

- 1月6日 徳島市が金沢市に給水車1台を派遣
- 7日 徳島市給水車が穴水町にて給水活動に従事

日本赤十字社関係

● 支援物資

- 1月8日 日本赤十字社徳島県支部が同石川県支部へ段ボールベッド、弾性ストッキングを搬出

その他支援

● 義援金

- 1月5日 日本赤十字社による義援金の枠組みとして、県庁万代庁舎はじめ県内5か所に募金箱を設置
- 9日 阿波銀行と徳島大正銀行の協力の下、振込口座を開設

- ・リエゾン
- ・避難所運営支援
- ・福祉避難所等運営支援
- ・健康相談業務（保健師チーム）
- ・福祉支援（災害派遣福祉チーム）
- ・【下水道事業】下水管きよに関する調査（技術職、技能職）
- ・【上水道事業】配水管及び給水管の漏水調査及び修繕（技術職、技能職）
- ・被災建築物応急危険度判定士
- ・被災宅地危険度判定士
- ・罹災証明発行支援
- ・建物被害認定調査
- ・応急仮設住宅建設（建築職）
- ・廃棄物処理
- ・教育的支援（指導主事、教職員）
- ・栄養相談業務（管理栄養士）
- など